

堀岡敏喜議員



東日本大震災を教訓に、地域防災計画をどう見直すのか

問

防災について聞く。
（1）地域防災計画をどのように見直していくのか。

か分からぬ人も多い。情報報を市が発信していくこと
も、大切な支援ではないか。

（2）現在行われている木曽川堤防の強化工事など、八
ード面の計画は。

（3）市のハザードマップの
最高浸水位を、市主要施設、
自治会集会所、電柱に掲示
できないか。

（4）市指定避難所の建造物
の耐震化の状況はどうか。
（5）避難所の備蓄食料等は
何日分あるのか。

（1）国の（被害想定）指針が、
25年までにつくられる。
国、県の防災計画をしつ
かりとかんがみ、市の防災
計画に生かしていかなければ
ばならない。

に作成していく。

（2）木曽川左岸の高潮防潮
堤の整備は順調に進んでお
り、その延長（整備）も今後、
（国に）依頼していく。

（3）木曽川左岸の高潮防潮
堤の整備は順調に進んでお
り、その延長（整備）も今後、
（国に）依頼していく。

（4）現在5万5千食ほ
どの乾パン、アルファ
ミを備蓄している。

（5）簡易仮設トイレが106個
ある。ひので公園にトイレ
として利用できるマンホール
が9カ所ある。

（6）液状化が起こった千葉県
浦安市では、便袋を大量に
使った。この方法も含め、
今後どんな対策が取れるか
検討していただきたい。

（7）市社会福祉協議会を中
心に進めていただきたい。

（1）国の被害想定に
基づき策定

答 市長



▲海拔表示が貼られた同報無線の支柱（近鉄弥富駅南口）

バースの整備計画は23
年度、ふ頭整備に12億
円、道路に18億円を
(国が)予算計上し
た。

答 防災安全課長

（3）海拔ゼロメートル
標識約30カ所に加え、
同報無線に22年度30カ
所設置した。表示増設
は今後の検討課題とさ
せてほしい。

（4）現在指定の34カ所
中33カ所が耐震基準を
満たしている。

（5）現在5万5千食ほ
どの乾パン、アルファ
ミを備蓄している。

（6）簡易仮設トイレが106個
ある。ひので公園にトイレ
として利用できるマンホール
が9カ所ある。

（7）市社会福祉協議会を中
心に進めていただきたい。

答 民生部長

（1）5月14日から17日の4
日間、岩手県大槌町等にボ
ランティアに行つたが、ま
だ人手が必要である。
どうしたら参加できるの

（2）今後市で作成する防災計
画は、概要版を全戸配布し
ていきたい。

（3）喫緊の課題として、津波
発生時の避難場所が公共施
設だけでは足りない。
民間企業や高層マンション
管理者の協力を得て、新

たに防災マップを9月目標
で完成させる。

（4）（5）（6）（7）

（7）市社会福祉協議会を中
心に進めていただきたい。